

貯湯層給水入口ノズルの腐食

貯湯槽	
最高使用圧力：	被加熱側 0.392MPa 加熱側 0.196MPa
内容積：	被加熱側 2.640MPa 加熱側 0.050MPa
材質：	管台 SGP 4.2t
設置年：	昭和43年

1. 腐食の発生状況

本容器はホテルの給湯用で、同ホテルは地域では有数のホテルである。

給湯設備の故障は、ホテルの営業に大きく影響する。

性能検査において、給水入口ノズルフランジ（80A）の外面腐食が激しいので保温材を取り外したところ、ノズルの腐食はさらに激しく、肉厚測定のためケレンを行なって穴あきがわかった。（写真1）

2. 原因

開孔の原因は、長年の運転で内面が腐食劣化し（写真2）穴あきに至ったもので、ノズルの外面腐食はこの微小な漏れが断熱材の中にしみこみ腐食雰囲気をもたらし発生したものである。

補修は変更届を監督署に提出し、継手は工期の短縮を計るため、ねじ込み継手を採用した（写真3）。

3. 対策（対応）

保温がある場合、漏れの確認ができにくいので、漏れの発生する可能性が高いねじ込み継手より溶接継手が良い。また、ねじ部は腐食が発生しやすく、肉厚が薄くなるので溶接による取り付けを推奨する。



写真1 開孔状況



写真2 内面腐食状況



写真3 修理状況